



太 建 第 402 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

太良町長 岩 島 正 昭



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のこのことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

佐賀県太良町

橋梁補修工事等に係る新規補助事業の創設又は既存の補助事業の対象要件の拡大・補助率の嵩上げ

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

佐賀県太良町

○現状

有明海沿岸地域の環状高速交通ネットワークの建設は、地域間の相互交流、広域的な経済活動など有明海沿岸地域の一体的発展に必要不可欠であるが、鹿島市から諫早市までの約50kmが地域高規格道路の未指定区間である。鹿島市から諫早市までを直結する道路は国道207号のみであり、交通渋滞、騒音・振動が沿線住民の生活環境を悪化させている。

町道に架かる橋梁は114橋あるが、老朽化のため通行制限を行っている橋梁があるなど、早急に補修が必要であるが財政負担が大きく補修工事が困難な状況である。

○課題

有明海沿岸地域4県の環状高速交通ネットワークの形成及び国道207号の渋滞緩和、沿線住民の生活環境の向上のため、鹿島市から諫早市までの地域高規格道路の指定、早期整備

橋梁補修に係る工事費等の財政負担

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

佐賀県太良町

有明海沿岸地域の環状高速交通ネットワークの形成により、広域的かつ活発な経済・社会活動及び地域連携による交流・物流の強化を図り、地域交流や観光を柱とした町の発展。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

佐賀県太良町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域の活性化	有明海沿岸道路（鹿島市～諫早市間）の候補路線の指定	広域的な地域連携の形成 有明海沿岸地域の一体的発展 交通渋滞の緩和	
・交通安全対策	老朽橋梁の補修	安全・安心な生活道路の確保	